

北見工業大学学報

第 262 号 (2014 年 3 月号)

目 次

学位記授与式	平成 25 年度学位記授与式を举行……………	2
告 辞	平成 25 年度学位授与式告辞……………	4
入 試	大学院工学研究科入学試験(第 2 回)を実施……………	5
	工学部一般入試を実施……………	6
研 究 助 成	平成 25 年度共同研究の受入状況……………	7
	平成 25 年度奨学寄附金受入状況……………	7
人 事	人事異動……………	8
諸 報	事務職員のための講演会を開催……………	11
	北見市立図書館の企画展示……………	12
	本学の学生・職員混成チームが「びほろ冬まつり『雪上綱引き』」に参加……………	13
	札幌モーターショー2014 で技術展示……………	14
	平成 25 年度「新時代工学的農業クリエーター人材創出プラン」事業終了……………	15
	「研究ユニット研究報告会」を開催……………	16
	北見医工連賞授賞式・オホーツク医学大会……………	17
	FD 講演会を開催……………	18
	「北桜寮」内覧会の実施……………	19
	平成 25 年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式(退職時表彰)を举行……………	20
日 誌	2 月・3 月……………	21

= 学位記授与式 =

平成 25 年度学位記授与式を挙

(総務課)

3月20日(木)、平成25年度学位記授与式が午前10時から北見市民会館で行われました。

学部375人の卒業生、大学院博士前期課程117人、大学院博士後期課程4人の修了生及び論文博士1人に対し、鮎田耕一学長から学位記が授与されました。

引き続き、学長告辞、櫻田真人北見市長、永田正記後援会会長、谷浩二同窓会会長及び近藤和雄学生後援会会長からの祝辞の後、

機械工学科・片山悟さんが、「これまでに本学で学んだことを活かし、自己研鑽への努力を惜しまず、社会へ広く貢献していくことで日本の、ひいては世界の明るい未来を切り開いていけるものと信じています。」と答辞を読み上げ、式は無事終了しました。

卒業生、修了生の人数は下表のとおりです。

学部

学 科 名	卒業生数(人)
機械工学科・機械システム工学科	76
社会環境工学科・土木開発工学科	67
電気電子工学科	63
情報システム工学科	65
バイオ環境化学科	65
マテリアル工学科・機能材料工学科	39
合 計	375

大学院博士前期課程

専 攻 名	修了者数(人)
機械工学専攻	39
社会環境工学専攻	14
電気電子工学専攻	16
情報システム工学専攻	8
バイオ環境化学専攻	16
マテリアル工学専攻・機能材料工学専攻	24
合 計	117

大学院博士後期課程

専攻名	修了者数(人)
生産基盤工学専攻	2
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	2
合計	4



学位記授与式の様子

= 告辞 =

平成 25 年度学位授与式告辞

学部卒業、大学院修了の皆さん、学位取得おめでとうございます。

学部卒業の皆さんは4年間、大学院博士前期課程修了の皆さんは6年間、大学院博士後期課程修了の皆さんはさらに3年間を大学で学び研究し、その努力が実り、めでたく学位記を授与されたことに敬意を表し、北見工業大学の教職員を代表してお祝いを申しあげます。

本日はご多用にもかかわらず、北見市副市長の塚本様、大学後援会副会長の戸田様、同窓会会長の谷様、学生後援会会長の近藤様にご臨席を賜り、本学の理事・副学長・事務局長が列席するなか、学位記授与式を挙行できますことに感謝申しあげます。

本年度は、学士375人、修士117人、博士5人に学位記を授与致しました。

この中には、中国、韓国、マレーシア、バングラデシュ、ベトナムからの18人の留学生がおります。

また本日は、多くのご家族・保護者の方々にご出席いただいております。

卒業、修了は学位を授与された皆さんの努力のたまものでありますが、同時に皆さんを温かく見守り続けてこられたご家族や周りの方々の経済的、精神的な支援のおかげでもあります。このような方々への感謝の気持ちを忘れないでください。特に、ご家族は今日この日を晴れやかな、そして少

しほっとした気持ちで迎えられていることと思います。

ご家族の皆様に心からお慶び申しあげますとともに、これまでのご苦勞と本学へのご協力にこの場をお借りして感謝申しあげます。

私事になりますが、私は本年3月をもって学長の任期を満了し、45年にわたる北見工業大学での教員生活に一つの区切りをつけます。したがって皆さんは、私が送り出す最後の卒業生・修了生になります。

私は、長年寒冷地のコンクリートの耐久性に関する研究を進めてきました。本日、学位を手にした皆さんは、高く強い志を持ってこれからの新しい生活に臨むことと思います。ときには困難にぶつかり、決心が揺らいでしまうこともあるかもしれませんが、しかし、オホーツクのこの寒冷地という厳しい自然環境の中、学問を修めた皆さんの志は、どんな困難にさらされても決して負けることのない、コンクリートよりも強いものであると私は信じています。

本学で学んだことを誇りに、社会で大いに活躍されることを願って、学位記授与式にあたっての告辞といたします。

改めまして学部卒業、大学院修了おめでとうございます。

平成 26 年 3 月 20 日
北見工業大学長 鮎田 耕一

= 入試 =

大学院工学研究科入学試験（第2回）を実施

（入 試 課）

平成26年度大学院工学研究科前期課程入学試験（第2回）を2月12日（水）（学力検査）、13日（木）（面接試験）に実施しました。各専攻別の合格者数等は下表のとおりです。

また、平成26年度大学院工学研究科博士後期課程入学試験（第2回）を2月12日（水）（面接試験）に実施しました。各専攻別の合格者数等は下表のとおりです。

博士前期課程

専攻名	募集区分		一般入試		社会人特別入試		外国人留学生特別入試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
機械工学専攻	2	0	0	0	1	0	0	0
社会環境工学専攻	3	3	1	1	0	0	0	0
電気電子工学専攻	1	1	0	0	0	0	0	0
情報システム工学専攻	2	1	0	0	0	0	0	0
バイオ環境化学専攻	3	3	0	0	1	1	0	0
マテリアル工学専攻	4	4	0	0	0	0	0	0
合 計	15	12	1	1	2	1	0	0

博士後期課程

専攻名	募集区分		一般入試		社会人入試		外国人留学生入試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
生産基盤工学専攻	1	1	0	0	0	0	0	0
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	0	0	2	2	1	1	0	0
医療工学専攻	0	0	1	1	0	0	0	0
合 計	1	1	3	3	1	1	0	0

工学部一般入試を実施

(入 試 課)

平成 26 年度工学部一般入試について、1 月 27 日(月)から 2 月 5 日(水)までの願書受付期間内に前期日程 557 人、後期日程 1,441 人の出願がありました。

前期日程は 3 月 6 日(木)に合格者を発表し、後期日程は 3 月 12 日(水)に個別学力検査を行い、20 日(木)に合格者を発表しました。各系の合格者数等は下表のとおりです。

前期日程

系 名	募集人員	志願者数	合格者数
機 械 ・ 社 会 環 境 系	64	236	161
情報電気エレクトロニクス系	63	175	128
バイオ環境・マテリアル系	46	146	90
合 計	173	557	379

後期日程

学 科 名	募集人員	志願者数	合格者数
機 械 ・ 社 会 環 境 系	56	622	79
情報電気エレクトロニクス系	42	495	64
バイオ環境・マテリアル系	36	324	68
合 計	134	1441	211

= 研究助成 =

平成25年度共同研究の受入状況

平成26年3月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等
電気電子工学科	教授	小原 伸哉	積雪寒冷地用クリーン分散エネルギー電力制御システムの実現	リコーITソリューションズ株式会社
マテリアル工学科	助教	古瀬 裕章	希土類添加透光性アルミナ多結晶体の創製	独立行政法人物質・材料研究機構
電気電子工学科	准教授	吉澤 真吾	海底資源探査・海底地盤モニタ用の水中大容量通信に向けた、通信信号で変調を受けたレーザー光の水中の伝搬特性と復調特性を調査するための甲乙丙丁四者の基礎実験に関する研究	独立行政法人海洋研究開発機構/ 三菱電機特機システム株式会社/ 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所
機器分析センター	准教授	大津 直史	貴金属量低減水素分離膜の劣化原因解析	JX日鉱日石エネルギー株式会社 水素・FC研究所
社会環境工学科	准教授	舘山 一孝	雪氷状態モニタリング技術の開発	独立行政法人宇宙航空研究開発機構/ 株式会社センテナリア
社会環境工学科	教授	川村 彰	帯状ガイドライトの設置が運転挙動に与える影響に関する調査研究	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北
社会環境工学科	准教授	川口 貴之	過剰水が連続繊維補強土の強度に与える影響把握と現位置強度試験方法の開発	日特建設株式会社
社会環境工学科	准教授	川口 貴之	凍結融解作用と実物大補強土壁の性能に関する実験研究	岡三リビック株式会社/東京インキ株式会社

平成25年度累計82件

平成25年度奨学寄附金受入状況

平成26年3月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	CNT修飾Si粒子の研究	株式会社T&Tイノベーションズ	1,000,000
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	北見工業大学における学術研究等助成	株式会社村田製作所	1,000,000
バイオ環境化学科	教授	中谷 久之	バイオ環境化学に対する寄附	出光ライオンコンポジット株式会社 複合材料研究所	500,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	学術研究に要する経費	株式会社紅葉流域設計	250,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	工学研究のため	株式会社ドーコン	500,000
社会環境工学科	准教授	川口 貴之	工学研究のため	興亜開発株式会社	700,000
社会環境工学科	教授	高橋 修平	道路の雪氷防災に関する研究	株式会社構研エンジニアリング	500,000
社会環境工学科	教授	中山 恵介	研究協力のため	株式会社豊水設計	600,000
バイオ環境化学科	准教授	新井 博文	医用工学研究のため	北見医工連携研究会	200,000

平成25年度累計56件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○文部科学省発令

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
26. 3. 31	国立大学法人北見工業大学長	鮎田 耕一	任期満了退職
〃	国立大学法人北見工業大学監事	高松 謹也	任期満了退職
26. 4. 1	理事・副学長	高橋 信夫	国立大学法人北見工業大学長 (任期：平成30年3月31日まで)
〃	国立大学法人北見工業大学監事	前 晉爾	国立大学法人北見工業大学監事 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	独立行政法人日本学生支援機構監事	佐藤 正行	国立大学法人北見工業大学監事 (任期：平成28年3月31日まで)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
26. 3. 31	理事・副学長	田牧 純一	任期満了退職
〃	工学部教授	高橋 修平	定年退職
〃	工学部教授	青山 政和	定年退職
〃	工学部教授	庄子 仁	定年退職
〃	工学部准教授	後藤 隆司	定年退職
〃	工学部准教授	三枝 和彦	退職(山形大学へ転出)
〃	学生支援課長	小野 勝巳	定年退職
〃	施設課副課長	小林 正巳	定年退職
〃	総務課係長	二村 肇	退職(文部科学省へ転出)
〃	総務課係長	福井 将人	退職(北海道大学へ転出)
〃	情報図書課係長	磯本 善男	退職(北海道大学へ転出)
〃	技術部大学運営支援室長	岡田 包儀	退職
26. 4. 1	工学部教授	吉田 孝	理事・副学長及び研究推進機構長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	田村 淳二	理事・副学長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	理事	小野 薫	理事 (任期：平成28年3月31日まで)

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
26.4.1	工学部教授	柴野 純一	副学長、学術情報機構長、図書館長及び医療工学専攻主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	野矢 厚	副学長、基盤研究推進本部長、基盤研究推進センター長及び生産基盤工学専攻主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	山下 聡	学長補佐及び寒冷地・環境・エネルギー工学専攻主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	南 尚嗣	環境・エネルギー研究推進センター長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	川村 彰	産学官連携推進本部長及び社会連携推進センター長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	羽二生博之	応用研究推進センター長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	鞆師 守	知的財産センター長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	堀内 淳一	研究支援本部長及び機器分析センター長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	山田 貴延	ものづくりセンター長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	榮坂 俊雄	情報処理センター長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	本田 明	保健管理センター所長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部准教授	許斐 ナタリー	国際交流センター長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	亀丸 俊一	技術部長 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	鈴木 聡一郎	機械工学科長及び機械工学専攻主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	三上 修一	社会環境工学科長及び社会環境工学専攻主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	谷本 洋	電気電子工学科長及び電気電子工学専攻主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	三波 篤郎	情報システム工学科長及び情報システム工学専攻主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	星 雅之	バイオ環境化学科長及びバイオ環境化学専攻主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	平賀 啓二郎	マテリアル工学科長及びマテリアル工学専攻主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	工学部教授	齋藤 正美	共通講座主任及び各専攻共通主任 (任期：平成28年3月31日まで)
〃	(新規採用)	齋藤 徹	工学部教授
〃	(新規採用)	木村 章男	工学部教授
〃	(新規採用)	川尻 峻三	工学部助教
〃	(新規採用)	崔 希燮	工学部助教

発令年月日	現 職 名	氏 名	新 職 名 (発令事項)
26. 4. 1	(新規採用)	酒井 大輔	工学部助教
〃	小樽商科大学キャリア支援課長	富樫 剛	学生支援課長
〃	情報図書課長	岸本 一志	情報図書課長 (係長兼務)
〃	研究協力課副課長	小野 恵子	研究協力課副課長 (係長兼務)
〃	研究協力課副課長 (係長兼務)	斉藤 由紀子	研究協力課副課長
〃	学生支援課副課長	斉藤 順	学生支援課副課長 (係長兼務)
〃	施設課係長	谷口 秀俊	施設課副課長
〃	学生支援課係長	山本 渉	総務課係長
〃	総務課主任	三宮 智仁	総務課係長
〃	施設課主任	大野 庄也	施設課係長
〃	北海道大学附属図書館利用支援課事務職員	池田 幸代	情報図書課専門職員
〃	財務課主任	西尾 貴則	総務課主任
〃	情報図書課主任	白鳥 和枝	学生支援課主任
〃	財務課事務職員	原 勇介	財務課主任
〃	研究協力課事務職員	上野 祐輔	研究協力課主任
〃	情報図書課事務職員	泉 真理恵	情報図書課主任
〃	(新規採用)	田中 大貴	研究協力課事務職員
〃	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ長	中西 喜美雄	技術部大学運営支援室長
〃	技術部学部・大学院支援室技術専門員	百武 欣二	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ長
〃	技術部大学運営支援室情報処理支援グループ開発運用係	常田 妃登美	技術部大学運営支援室情報処理支援グループ技術専門職員
〃	技術部学部・大学院支援室機器分析支援グループ技術専門職員	三橋 恵治	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ技術専門職員
〃	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ技術専門職員	橋本 晴美	技術部学部・大学院支援室機器分析支援グループ技術専門職員

＝諸報＝

事務職員のための講演会を開催

(総務課)

本学では、職員研修の一環として従来から事務職員のための講演会を開催しており、1月31日(金)に文部科学省高等教育局国立大学法人支援課支援第一係長の中島大輔氏を講師として招きました。

「国立大学改革の動向と課題について」と題した本講演では、道内の他の国立大学職員を含む合計60人が参加しました。

中島氏は講演の中で、平成25年11月に公表された「国立大学改革プラン」を基に、これからの国立大学は各大学の強み・特色

を最大限に活かし、自ら改善・発展する仕組みを構築することで持続的な競争力を持ち、高い付加価値を生み出す必要があること、また、それらを国民に分かる形で可視化することが重要であること等を、統計データを用いながら説明されました。

今回の講演に参加した職員は、大学の機能強化に向けた自主的・自律的な改善・発展を促す仕組みを構築するために、一人一人が主体的に大学改革に取り組む必要があることを強く自覚しました。



講演する中島係長



受講者の様子

北見市立図書館の企画展示

(情報図書課)

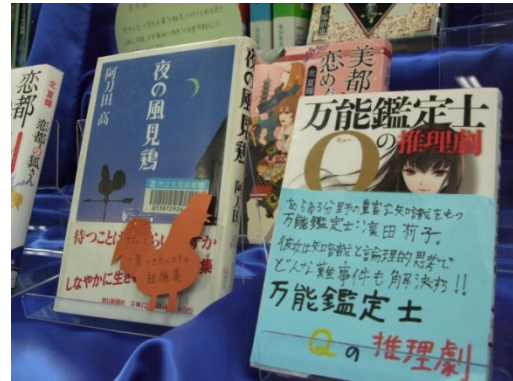
北見市立図書館との連携により、1月7日(火)から1月30日(木)まで、北見市立中央図書館において、ブック・プロジェクト及び本学の希望学生が選書した図書が展示されましたが、それらの図書が本学図書館にも展示されました。

本学図書館では、4月1日(火)から5月2日

(金)まで展示を行っています。図書には、お薦めの理由が書かれたポップがつけられ、借りることも可能です。

なお、北見市立図書館で選書した図書は、北見藤女子高校においても展示されました。

本学学生のお薦め本が、多くの方々の目に触れることは大変喜ばしいことです。



企画展示の様子

本学の学生・職員混成チームが 「びほろ冬まつり『雪上綱引き』」に参加

(社会連携推進センター)

2月2日(日)、美幌町が開催する「びほろ冬まつり」が行われました。最低気温が-20℃を下回る厳寒の中、町民をはじめ約6000人が集う大きなイベントとなりました。そのメイン企画の一つである「雪上綱引き」に、マネジメント工学コース3・4年次学生と職員からなる北見工業大学混成チームが参加してきました。本イベントには、「学生による地域貢献」をテーマとして卒業研究に取り組む4年生が中心となり、昨年度から参加しています。前回参加した綱引きで、大会を大いに盛り上げ「仮装大賞」を獲得した実績を買われ、町から強いお誘いを受けて本年も参加することとなったものです。

今回は地元美幌町からも「仮装の部」優勝を狙う強豪が数チーム参加しましたが、アンパンマンの登場人物を表現した薄着・手作りの仮装で奮闘した努力が実り、接戦の末北見工業大学チームが2年連続の優勝を果たしました。本学チームは集まった子供たちや家族連れの人気の的となり、極寒の中、終日仮装のままサービスに努め、多くの方々との記念写真に収まっていました。

地域の企業・公組織との共同研究、若い世代を対象とする教育活動、地域イベントなどへの学生の参画には地域からの強い要望があります。今後も地域貢献のため、同様の活動を継続・拡大していく計画です。



上) 土谷耕治美幌町長（中央）と記念撮影
右) 仮装綱引きで奮闘

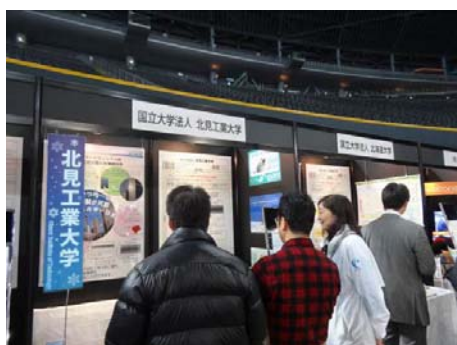
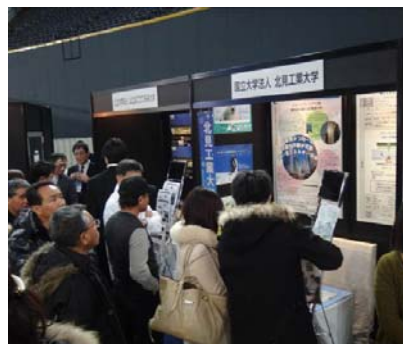


札幌モーターショー2014で技術展示

(社会連携推進センター)

2月14日(金)から16日(日)の3日間、札幌ドームを会場に札幌モーターショー2014が開催され、北見工業大学は会場内の、「北海道自動車産業ゾーン」に出展しました。札幌モーターショーは2012年から隔年で開催されており、北見工業大学は、初回から出展しています。北海道自動車産業ゾーンでは、北海道の自動車関連企業・団体の技術を紹介することを目的に、北海道と独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部が主催となり、学生の手によるハンドメイドエコカーの展示とともに、北海道内の企業15社、大学機関から北見工業大学、北海道大学、はこだて未来大学の3大学がそれぞれに取り組む自動車関連技術を紹介しました。

北見工業大学は、大学の紹介とともにマテリアル工学科阿部良夫教授が取り組む「スマートウィンドウ用高耐久性水酸化物薄膜の作製」の技術について、その用途拡大に向けたマッチングを目的に展示を行いました。札幌モーターショーの会場には、3日間で11万5千人以上の方が来場し、北海道自動車産業ゾーンにも絶え間なく多くの方の来場がありました。本学のブースには、技術に興味を持つ企業の方ももちろんのこと、同窓生や在学生、在学生の父兄が訪れ、さらには、大学受験を控える高校生とその家族が本学の教育や研究状況について興味を持つなど、技術広報だけでなく、大学広報としても価値の高い場となりました。



札幌モーターショー2014での技術展示

平成 25 年度「新時代工学的農業クリエイター人材創出プラン」事業終了

(社会連携推進センター)

社会連携推進センターが中心となって行っている人材育成事業、「新時代工学的農業クリエイター人材創出プラン」は、平成18年度から22年度まで科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」事業として取り組み、その後、北見市やオホーツク総合振興局からの支援をいただきながら継続しています。今年度は北見市の事業「地域資源付加価値向上、6次産業人材育成事業」として実施しました。本事業は、第一次産業製品の工業化を地域戦略の柱とし、健康と安心・安全をキーワードにした新規作物の作付けから商品開発・事業化までの知識とスキルを有する「工学的農業クリエイター」の創出を目指しています。今年度の受講生は、北見市をはじめ、遠くは清里町か

らの参加も有り、社会人7人、本学の学生6人の13人でした。今年度も数多くの商品開発が行われました。社会人では、牛肉ミソ、おからせんべい、おからによる化粧パック、ローズウォーターなどのバラ関連商品や鹿肉レシピが開発されました。また、学生は、地場菌によるヨーグルト、地場酵母を使ったベーグル開発、紫蘇水の活用、そしてハッカの活用等についての研究開発を行いました。受講生の成果報告会は2月25日(火)に開催し、3月17日(月)には修了式が行われました。本事業では、今後も継続的な修了生のフォローアップや人材育成を工農連携研究ユニットとの連携により引き続き事業を展開していく予定です。



成果報告会



修了式 (出席した受講生4人と事業スタッフ)

「研究ユニット研究報告会」を開催

(研究協力課)

3月6日(木)、本学多目的講義室において研究推進機構主催による「研究ユニット研究報告会」を開催しました。

高橋信夫研究推進機構長の挨拶に続き、電気電子工学科 橋本泰成准教授(医工連携研究ユニット)、マテリアル工学科 平賀啓二郎教授(太陽光エネルギー変換・効率利用ユニット)、社会環境工学科 山下 聡教授(表層型メタンハイドレート研究ユニット)、社会環境工学科 中山恵介教授(水環境工学研究ユニット)、電気電子工学科 小原伸哉教授(地域分散エネルギー研究ユニット)、バイオ環境化学科 佐藤利次准教授

(工農連携研究ユニット)、社会環境工学科 亀田貴雄教授(雪氷研究推進ユニット)、機械工学科 鈴木聡一郎教授(冬季スポーツ工学研究ユニット)、情報システム工学科 柴坂俊雄教授(複雑進化系設計)が発表を行いました。

各研究ユニットが実施している特色ある研究の報告に参加者は熱心に耳を傾けており、活発な質疑応答が行われました。

最後に高橋機構長が講評を述べ、研究報告会は終了しました。

学内の教職員及び学生38名(うち学生6名)が参加しました。



高橋機構長の挨拶



研究報告会の様子

北見医工連賞授賞式・オホーツク医学大会

(研究協力課)

3月8日(土)、本学A101講義室において、北見医師会、北見医工連研究会主催による第7回オホーツク医学大会が開催されました。

道東脳神経外科病院木村輝雄院長の開会挨拶に続き、主として若手研究者の医療工学研究のために設けられた北見医工連賞の授賞式が行われ、今年の本学バイオ環境化学科新井博文准教授が受賞されました。

本学を代表して高橋信夫理事から、大学

の教育研究活動に対する北見医師会等の日頃からの協力に対する謝辞がありました。

北見医工連賞受賞者講演では、新井准教授から「食品ポリフェノールの生理機能」と題した講演が行われました。

引き続き行われた特別講演、一般講演では地域の医療機関や本学等から地域医療事情や学生の発想による健康維持・向上への取組等、興味深い発表が行われました。



新井准教授受賞風景



挨拶する高橋理事

FD 講演会を開催

(学生支援課)

3月10日(月)、本学多目的講義室において、金沢工業大学から札幌順教授を講師にお迎えし、「技術者を「幸せ」にする倫理教育ー伝統的責任モデルを越えてー」と題してFD講演会を開催しました。

札幌教授は、金沢工業大学で科学技術応用倫理研究所所長を務められ、わが国の技術者倫理教育の第一人者として知られております。

今回は、技術者倫理の変遷から、学会の倫理綱領の歴史、なぜ技術者は社会的責任を負うのかなど、技術者を幸せにする倫理について講演いただきました。

多忙な時期にもかかわらず教職員46人が参加し、熱心に聴講していました。

また、3月25日(火)、本学多目的講義室において、北海道工業大学から三田村保教授を講師にお迎えし、「北海道工業大学における初年次教育」と題してFD講演会を開催しました。

三田村教授には、北海道工業大学で取り組んでいる初年次教育のプログラムからPF(ポートフォリオ)面談、新入生歓迎スポーツ大会などの紹介の後、新入生学力調査における入学時点の学力と年度末成績についての結果など、新入生の学力に関する問題について講演いただきました。また、講演の最後には北海道工業大学の教務システムについての紹介もあり、皆熱心に聴講していました。

今回の講演会は年度末の多忙な時期の開催でしたが、31人の教職員が参加いたしました。



講師の札幌教授



講演会の様子



講師の三田村教授



講演会の様子

「北桜寮」内覧会の実施

(施設課・学生支援課)

3月25日(火)、4月1日(火)から入寮が可能となった女子寮(北桜寮)の内覧会を実施しました。

内覧会には、鮎田耕一学長、高橋信夫理事、田村淳二副学長、小椋史朗事務局長のほか、学内関係者と入寮予定の女子学生が出席し、鮎田学長の挨拶の後、担当職員の説明とともに、共有スペースや居室を見学して回りました。真新しい寮の設備を見た女子学生は、うれしそうな表情が浮かべな

がらも、不明な点は積極的に質問するなど、真剣な様子で見学を行っていました。

最後に入寮予定の学生を代表して、マテリアル工学科2年の野呂真純さんから挨拶があり、入寮にあたっての感謝の言葉とともに「立派な技術者として社会に貢献できるよう、新しい環境の場で残りの学生生活を頑張りたい」との言葉があり、内覧会を終了しました。



鮎田学長からの挨拶



説明を聞きながら居室内を見学する女子学生



感謝の言葉を述べる野呂さん



内覧会終了後、1階共有スペースにて談笑する女子学生

平成 25 年度国立大学法人北見工業大学 永年勤務者表彰式(退職時表彰)を挙

(総務課)

平成25年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式(退職時表彰)が3月28日(金)午前9時40分から第2会議室において行われました。

本学永年勤務者表彰(退職時表彰)の被表彰者に対し、高橋信夫理事から表彰状の授与並びに記念品の贈呈が行われました。

被表彰者は、次のとおりです。(50音順)

氏名	所属学科等
鮎田 耕一	学長
岡田 包儀	技術部
小野 勝巳	学生支援課
後藤 隆司	社会環境工学科
高橋 修平	社会環境工学科



永年勤務者表彰式被表彰者

= 日誌 =

2 月

- 3日 オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 10日 入学者選抜委員会
- 12日 大学院入学試験(第2回)(~13日)
- 14日 入学試験実施委員会、入学者選抜委員会
- 18日 入学者選抜委員会
- 19日 教授会、研究科委員会、私費外国人留学生入学試験合格発表、大学院入学試験(第2回)合格発表、研究推進機構統括会議
- 20日 教務委員会
- 24日 発明審査委員会
- 25日 入学者選抜委員会、工農事業成果報告会、社会連携推進センター運営会議
- 26日 教育研究評議会、役員会
- 27日 学生委員会、入学者選抜委員会
- 28日 北海道地区国立大学における教養教育に関する協定書等に係る協定締結式

3 月

- 3日 編入学入学手続(~10日)、大学院入学手続(~13日)、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 4日 入学者選抜委員会
- 5日 教授会、研究科委員会
- 6日 一般入試(前期日程)合格発表、研究ユニット研究報告会
- 7日 教務委員会、一般入試(前期日程)入学手続(~15日)、私費外国人留学生入学手続(~15日)
- 10日 教授会、FD講演会
- 12日 工学部後期日程個別学力検査
- 13日 教育研究評議会
- 14日 経営協議会、学長選考会議、役員会
- 17日 教務委員会、工農事業運営委員会・修了式
- 18日 入学者選抜委員会
- 19日 教授会、学術情報委員会、入学者選抜委員会
- 20日 学位記授与式、社会連携推進センター運営会議、一般入試(後期日程)合格発表
- 21日 一般入試(後期日程)入学手続(~27日)
- 25日 女子寮(北桜寮)内覧会、FD講演会
- 28日 永年勤続者表彰式